

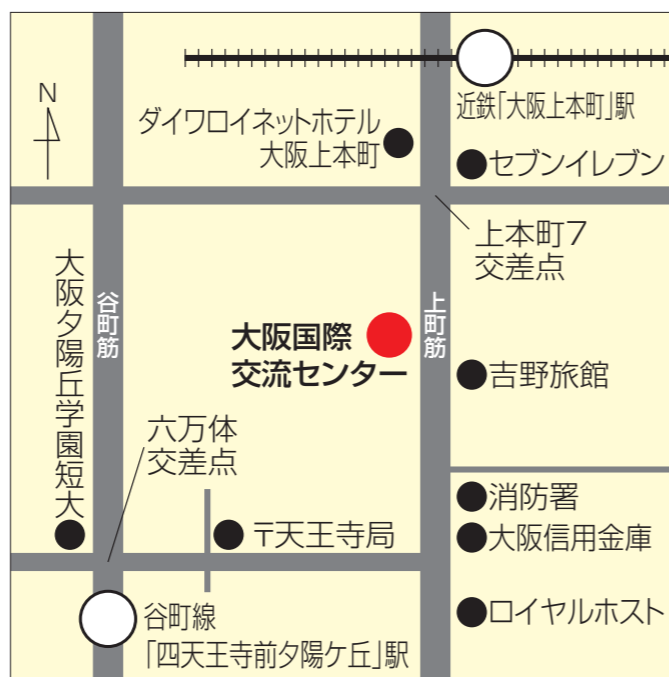
主催：KICCC (NPO法人 国際臨床保育研究所)
(Kid's International Clinical Childcare Center)

募集人数：50名

連続講座費用：78,000円 (6回分・税込)

テキスト代：3,000円 (KICCC所長 辻井 正の講義のテキストです。)

会場：大阪国際交流センター
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
Tel.06-6772-5931(代表)



- 近鉄「大阪上本町」駅、地上改札口より徒歩10分
- 大阪市営地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅1番出口右、徒歩7分
- 難波から来られる方は、近鉄「大阪難波」駅から二つ目の「大阪上本町」で降りてください。大阪上本町駅地上改札口より徒歩10分

下記の申込書に必要事項を御記入の上、
06-6773-3008までFAXをお願いいたします。

申込書

ふりがな
受講者名

勤務先

職務名

〒

勤務先住所

勤務先電話番号

FAX番号

勤務先以外へのFAXを希望される方は下記にご記入ください。(記入例: 送り先は市外局番-xxxx-xxxxx。メールで送ってください。アドレスは、....) お支払い方法ですが、振込先を明記した「お申し込み確認書」をFAXします。指定の口座にお支払いください。
※昼食ですが、近辺にファーストフードや手軽な食堂などがあります。講義室で食べることもできます。

勤務先以外の連絡先

★大阪限定開催★

一園に一人のおもちゃセラピストを育てるための

発達障がい児支援 おもちゃセラピスト養成講座

日本初のおもちゃライブラリー開設者・辻井 正博士のおもちゃセラピスト連続育成講座

～一園に一人のおもちゃセラピストを目指した専門性のある講座～
講座後、KICCC認定のおもちゃセラピスト認定書を授与します

講座の目的：クラス集団の中における個（発達障がい児）へのサポートとして、おもちゃの重要性が見直されています。本講座では発達上のつまずきを遊びの中から見つける検査法を習得し、感覚と知覚、操作と分類、構築（イメージ）、数（概念）、さらには遊びの展開へと、おもちゃ遊びを具体的に指導できるノウハウが学べます。さらに講習後は専門的な知識の裏付けにより、言葉おくれの子ども、遊びに集中できない子ども、集団に入れない子どもを支援することができます。

保育現場において「発達障がい児」を巡る問題は大きく、従来の「障がい児」とは異なった保育方法や支援が必要となりました。保育スタイルの変化に伴って不可欠な資格です。



第1回 9月18日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**おもちゃ遊びと
ニューロン(神経細胞網)の
ネットワーク**

特別講師 メストネック教育心理学博士

子どもが集団の中で他者をまねる、観察することから遊びの発展が行われるというメストネック理論とセラピーおもちゃを関連づけた講義です。セラピー教具での集団遊びと個の遊びを学びましょう。

Schedule2：13時00分～14時30分

乳児期の遊びの発達検査法KICCC (国際臨床保育研究所)
所長 社会学博士 辻井 正

発達障がい児の多くは乳児期に発達のな問題(リスク)を抱えており、それを早期に発見する必要性が言われています。保育室での遊びの中から子どもの発達のなつますきを見つける発達検査法を学んでいただけます。

Schedule3：15時15分～16時45分

ヨーロッパ保育園巡り

保育士 入江 真衣子

現職の保育士が4か月の特別休暇をもらって、スウェーデン、オランダ、イタリア、イギリスの保育園に滞在し、見たこと、感じたこと、日本の保育園との違いを克明に記録しました。実地体験をスライド画像とともに語っていただけます。

第2回 10月16日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**セラピー教具を使った
「感覚・知覚」遊びの実技**KICCC (国際臨床保育研究所)
所長 社会学博士 辻井 正

幼児の思考の基本は、「触れて、においをかいで、味わい、見聞かす」ことから始まります。例えば、触覚でものを判断するセラピー教具から、お気に入りのぬいぐるみを布で隠し、手で触るだけで自分のものを見つけられるような遊びへと展開する方法を指導します。

Schedule2：13時00分～14時30分

**発達障がい児と
医療とのかかわり**

近畿大学医学部精神科講師 辻井 農亜

昨今、「精神科外来には子どもがあふれている」と言われるぐらい、「我が子は発達障がいではないか」と案じ、病院を訪れる親子が増えています。集団適応や対人関係の難しい子どもたちと医療の関わりを講義していただけます。

Schedule3：15時15分～16時45分

**ワークショップ
羊毛を使った遊び方**

ももの家園長 西村 久容

ももの家保育園のエントランスから保育室に至るまでの空間は、手作りの羊毛や自然素材の人物、飾り棚、額縁で飾られ、まるで家庭のリビングにいるような雰囲気です。30数年のキャリアを持つ西村園長先生に各園でもできる保育素材の利用方法を教えていただけます。

第3回 11月20日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**セラピー教具を使った
「構築遊び」から学ぶ
空間・洞察・目と手の協調**KICCC (国際臨床保育研究所)
所長 社会学博士 辻井 正

一般的に積み木遊びと呼ばれている「構築遊び」は、子どものものの考え方を形成する重要な遊びです。空間的な理解が子どもの自己洞察力(想像力)を養い、自分の想像力を使って空間的に広がるある構築(積み木)遊びができるようになります。さらに運動能力、目と手の協応(見たものに素早く反応する能力)、集中力が養われます。

Schedule2：13時00分～14時30分

乳児の遊びとおもちゃ

やまぼうし保育園園長 吉本 和子

乳児期の「担当制」保育の理論と実践で著名な吉本園長先生は、おもちゃの選択眼と与え方においての第一人者でもあります。自分で遊び、自分で片づけられる子どもになるためには、乳児期の育てられ方とおもちゃ遊びに尽きるといのが吉本先生の保育コンセプト。豊富な体験と貴重なビデオから多くを学びたいと思います。

Schedule3：15時15分～16時45分

**ワークショップ
パターンブロックで学ぼう**

パターンブロック・インストラクター 辻井 正紀

ドイツのおもちゃ会社(HABA社)勤務の体験から、ヨーロッパの幼児教育におけるパターンブロックに興味を持ち、ブロック素材会社アントン・シーマ社と交渉後、独自のパターンブロックを商品化し、遊び方を伝えています。パターンブロックは、幾何学的な考えや算数の基本を見つける遊びとして保育現場にも取り入れたい教具です。百貨店のおもちゃ売り場でのパターンブロックの講習会は人気を博しています。

第4回 12月11日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**セラピー教具を使った
「分類する・ビーズを使う」
遊びの実技**KICCC (国際臨床保育研究所)
所長 社会学博士 辻井 正

日本語の語呂に「分ける」「分かる」があります。子どもは分類することで目の前のものを理解します。「分類」遊びから「分かる、分ける」につながることを、ビーズを使って具体的に練習します。

Schedule2：13時00分～14時30分

**保育園が育てる
「おもちゃの宅配便」**

錦江保育園理事長 島田 教明

山口県防府市のおもちゃライブラリーには年間約1500人の子どもと保護者が訪れます。おもちゃの貸し出しだけでなく、母子密着型家庭のマンションの扉を開く努力等、保育園と地域が連携した子育て支援のモデルでもあります。始まるの歴史、運営方法、おもちゃの選択等を10年間の流れとともに追い、独特の保育観も語っていただけます。

Schedule3：15時15分～16時45分

**ワークショップ
保育室に季節感を与える工夫**

ももの家園長 西村 久容

ちょっとした自然素材を保育室に持ち込むことで、子どもは敏感に季節を感じ取ります。野の花、ドングリ、木の葉を使った保育素材の作り方を学んでください。

第5回 1月15日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**セラピー教具を使った
「数える」「数の概念」
遊びの実技**KICCC (国際臨床保育研究所)
所長 社会学博士 辻井 正

数字を順番に言えない子どもも、お菓子なら1個、2個、3個と、数量が理解できます。それをきっかけに正確に数えることを学び、数字を順番に口に始めます。間接的に比べる列、数える、数字、計算へと講義を進めます。

Schedule2：13時00分～14時30分

自閉症スペクトラム

浜竹保育園(東京都大田区)副園長 田中 秀雄

「ちょっと気になる子ども」は保育室に増えています。しかし、そのような子どもを障がい児としてとらえるのか、それとも境界線上児として保育するのかに迷います。1990年ごろに始まった「自閉症スペクトラム」の考えは、「高機能自閉症児とアスペルガー症候群の違いはあるのか」「知能指数の高低をどのようにとらえるのか」の研究から始まりました。やや専門的な知識ですがぜひとも学んでいただきたい講義です。

Schedule3：15時15分～16時45分

**ワークショップ
保育空間をデザインする**

ももの家園長 西村 久容

天井空間にモビールが吊るされ、カーテン状の天蓋で覆われているだけで保育室がグッと引き締まります。子どもの落ち着きと空間の引き締め方には関係があるようです。空間の飾り方を学びましょう。

第6回 2月19日(日)

Schedule1：10時30分～12時00分

**セラピー教具を使って
「空間(身体像)・時間」を学ぶ**KICCC (国際臨床保育研究所)
所長 社会学博士 辻井 正

空間と時間の理解は、子どもが生活環境を理解するのに欠かすことのできない認知行為です。①体についての知識 ②空間内の関係 ③平面上の関係に分けて考えます。そして、さまざまな方法で時間を目に見えるものにして、活動とともに時間を理解させることを学んでいきます。

Schedule2：13時00分～14時30分

創造共育を目指して

童具館館長 和久 洋三

和久洋三は「アトリエ遊びはお手本通りに作らせる模倣でもなく、製作技術を身につけさせることでもなく、子どもたち自らが発見し、表現することに喜びを感じ、その中から創造力を豊かに育てるものだ」と考えます。現場の保育者がぜひ身につけたい和久思想は、現在の保育が最も必要としている「一人ひとりの主体性から生まれる自己表現」です。

Schedule3：15時15分～16時45分

**ワークショップ
色を混ぜ合わせよう
—シュタイナー保育園の実践から—**KICCC (国際臨床保育研究所)
所長 社会学博士 辻井 正

何度もドイツ東部のヴルドルフ・シュタイナー保育園を訪れた辻井 正は、子どもたちが湿り気たっぷりの画用紙に、3原色の絵の具を太い絵筆で繰り返し描く姿を見て来ました。色を混ぜることはまったく新規な色を作ることを意味します。シュタイナー保育園の色づくりを体験していただけます。

講師紹介

メストネック教育心理学博士

米国優秀教具金賞・オープンハイム選集ベストおもちゃ賞・ベアレントマガジンベストおもちゃ賞・親と子どものための教育玩具賞に輝くメストネック博士の、おもちゃ遊びと脳神経細胞のネットワーク理論はユニーク。

KICCC(国際臨床保育研究所)所長

社会学博士 **辻井 正**

旧西ドイツの障がい者施設「ペーテル」で看護助手として勤務し、ケルン大学(乳児の運動神経学)で研修を受け帰国する。帰国後、日本で初めてのおもちゃライブラリーを大阪に設立。大阪教育大学、神戸女学院大学非常勤講師を経て、現在は臨床の場として、アサヒペーパー相談(朝日新聞社厚生文化事業団)のカウンセラーとして臨床に力を注いでいる。

やまぼうし保育園園長

吉本 和子

やまぼうし保育園で使われているおもちゃの一つひとつが、園長先生の目で選ばれたもの。乳児室の手作りおもちゃの安全性、構築遊びの積み木の豊富さ。ボードゲームで遊ぶ5歳児たちは生き生きし、これほどのおもちゃが保育現場で使われているのは全国的にも珍しい。吉本先生の実践に即したお話が魅力的。

童具館館長

和久 洋三

独自の積み木論を展開し、子どもの手で使われるおもちゃを「童具」と命名する。創造性あふれる子どもの作品は、「童具アトリエ展」として毎年各地で開催され、多くのファンが集う。子どもたちが主体的に構築遊びに夢中になっている姿は感動的。

錦江保育園理事長

島田 教明

「おもちゃの宅配便」の名称で、おもちゃライブラリーを開設して10年。地域密着型の保育園運営をめざし、二つの保育園と幼稚園を運営している。情緒障がい児短期治療施設での勤務経験から獲得した保育論はユニーク。

近畿大学医学部精神科講師

辻井 農亜

日本精神神経学会専門医。ようやく児童精神医学の必要性が認知されて来たが、現状は児童精神医学を専門的に研究する医師がまだ少ない。大学医学部での研究と病院臨床をこなしながら、多くの発達障がい児を診察する立場からの生の声を。

浜竹保育園副園長

田中 秀雄

障がい児教育への研究と発達テスト、自閉症児スペクトラム等の検査技術等に多くの知識を持つ。何よりも保育園や幼児教育施設での現場体験が豊富。今回の講座では発達検査技術を担当。

※講師の都合によりスケジュールに変更が生じる場合がございます。
※各日各講座ですが、単独で受講していただくことはできません。